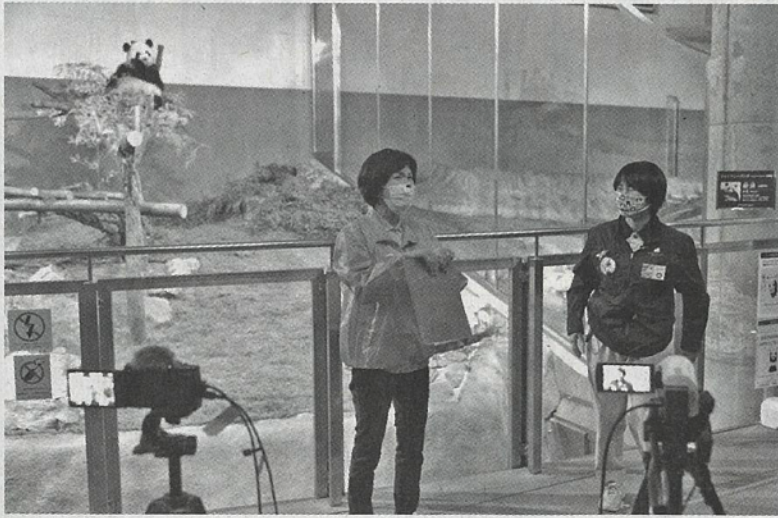


NPO和歌山子どもの虐待防止協会（桑原義登会長、和

# パンダ子育てトーク

## 動画を生配信

### オレンジリボン運動で



ジャイアントパンダ「彩浜」の前で子育てトークをする、山下博美さん（左）と飼育スタッフの水本育恵さん＝3日、白浜町で

歌山市は3日、白浜町のアドベンチャーワールドの協力を得て、同園で撮影した「パンダ子育てトーク」を動画投稿サイト「YouTube」で生配信（ユーチューブ）で生配信した。ジャイアントパンダの飼育スタッフが、母パンダ「良浜（らうひん）」の子育てなどについて語った。11月の「児童虐待防止推進月間」に合わせたオレンジリボン運動の一環。協会では虐待の防止に取り組む人や団体

などを紹介する動画を作成して「ユーチューブ」で随時配信している。今回の動画も編集後に投稿する予定という。子育てトークの動画は、閉園後にパンダ「彩浜（さいひん）」の前で撮影した。和歌山放送局のラジオオカリーポーター、山下博美さん（52）が進行役を務め、飼育スタッフの水本育恵さん（33）が出演した。

水本さんは「良浜」の子育てについて、「赤ちゃんを大事に育てていて、スタッフもお手伝いしている。1、2カ月ずっと赤ちゃんを抱っこして温め続ける姿を見て、すごいなと思う」と説明。イルカやペンギン、ライオンの子育ての様子についても語った。

また、和歌山信愛大学教授で臨床心理士の桑原会長（74）も登場し、配信中に視聴者から寄せられた質問に答えた。「子どもがあれも嫌、これも嫌と言って困っている」という質問に、桑原会長は「して良いことを教えるのがしつけの第一歩。親がモデルを示し、子どもと一緒にやってみるのが良いと思う」と答えた。

桑原会長は取材に対し、「より多くの人に情報を届けられるよう企画した初めての取り組み。動画の投稿は、着々と皆さんに関心を持っていただいている。虐待は誰にでも起こり得る。オレンジリボン運動を通じて、もっと広く知ってもらえたり」と話した。

# 11月は児童虐待防止推進月間です

～子どもたちの笑顔と健やかな育ちのために 力を合わせて！ 地域のみんが 子育てパートナー！～

YouTube 配信!



等々、元気もらえる映像もあるよ!

オレンジリボン和歌山 YouTube 検索

オレンジは子どもたちの明るい未来を表しています  
子どもたちの心と体の安心安全を守りたい  
子育てするあなたを応援しています!

子どもを虐待から守るオレンジリボン運動

「オレンジリボンツリー」

田辺市役所・上富田町役場  
県立紀南図書館(Big・U内)  
などに設置してよ!



高尾山 オレンジの  
「人文字」点灯!

★オレンジビームを夜空に照射しました!

NPO法人和歌山子どもの虐待防止協会  
http://wspsan.jp/  
紀南地区担当:山本高正  
(090-6913-7691)  
和歌山市六番丁43番地  
ハビネス六番丁ビル5F



※「ちょっと気になる子が…」あなたの気づきが子どもへの虐待を防ぎます! 児童相談所ダイヤル 189 へ